



こんにちは **高橋しげのり** です

日本共産党かほく市議会議員

メール shige-takahashi1951@yahoo.co.jp

2024年12月22日第528号

高橋☎285-1756FAX285-1758

かほく市遠塚1149-1 あなたの

ご意見などを寄せ下さい

能登被災者支援食料支援に150人余



能登半島地震で、市内のアパート等に避難している方々が家族連れで参加。七塚健康福祉センターでのお渡し会
(写真12月15日)

5回目の食料無料お渡し会

能登半島地震被災者支援への無料「支援物資お渡し会」が、12月15日(日)、かほく市の七塚健康福祉センターで開かれました。当日は、開催前から市内や奥能登から被災して市内のアパート等に避難されている方など家族連れで150人余が参加。

食料お渡し会の主催は、羽咋にある「能登半島地震被災者共同支援センター」と、かほく市が後援しています。

●当日は、被災者の方々が積極的にボランティアとして、協力してくれました。

市民の方からお米や募金寄せられる

●市民の方からも「被災者の皆さんに使うて下さい」と、お米や募金寄せられました。

まもなく1年になる能登半島地震での復旧・復興の遅れや被災者の生業(なりわい)再建など多くの課題が残されています。これまでに被災者から230件近くのアンケートが寄せられており、その一部をご紹介します。

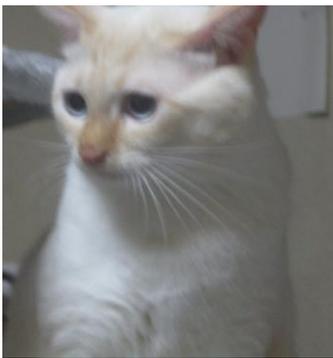
●支援物資もらえるので、他の支払いに回せるので助かります。続けて欲しい。(74歳女性)

●液状化で先に進めず、仮設アパートの期限を延ばして欲しい。(大崎男性)

●道路が大雨で家(輪島)まで車で行けない、困っている。(73歳女性)

●支援物資本当にありがたい。冬物の下着は有りがたい。(女性)

●自費解体の償還が心配。(女性)



名前「しろ」4歳、男の子わが家の大事な家族です。ルンルン

でいます。明るい金を広げるのが政治本来の役割。影から光への転換は、人びとのねがいであります。すず。 (赤旗日刊新聞12月13日)

自民党の裏金議員に2000万円支給をスクープした赤旗新聞、赤旗なければ闇の中

光と影、選ばれた理由、パリ五輪・パラリン光と影が、選ばれた理由にありました。パリ五輪・パラリンピックや大リーグ・大谷翔平選手の大活躍が光。政治とカネ・裏金問題や止まらない物価高騰、金目当ての闇バイトが影です▼1年の世相を表す今年の漢字は「金」でした。光の金(きん)と影の金(かね)。示された二つの意味が国民の関心を引き、たくさん票を集めたといえます▼「裏金を表に出した調査力」結城哲。本紙「読者の文芸」川柳選に掲載されたように、「しんぶん赤旗」のスクープで端を発し、とどめを刺した自民党の裏金。15年ぶりとなった自公過半数割れは国民の怒り、変化を求める声の表れでした▼しかし当の自民党には、まったく反省がありません。政治資金規正法の再改定案で示したのは、領収書は公開せず、支出額の上限も定めないというもの。闇金の温床となってきた政策活動費についても、廃止をいながらまた抜け穴を。「公開工夫支出」と怪しげな名称を付けて▼金で政治を大きくゆがめてきた企業・団体献金の禁止についても、かたくなに拒否。不正な金の流れを変えようとしません。巨額をため込む大企業に物もいえず、どうして大幅な賃上げが実現できるのか。共産党の田村智子委員長が予算委で迫りました▼金といえば税金の使い道も問題になっています。くらしより大軍拡。しかも政府・与党は、そのための増税もたくらんでいます。明るい金を広げるのが政治本来の役割。影から光への転換は、人びとのねがいであります。すず。